

「ツーリズム EXPO ジャパン 2026」出展に係るブース企画・設営等業務委託仕様書

1 目的

アジア最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2026」において、広島県の PR 及び観光誘客を目的として、県内市町等と連携し、商談会の実施並びに展示会ブースを出展する。

広島県ブースにおいては、来場者に対して広島県の魅力や観光情報を効果的に発信することで、理解を深めるとともに、広島県への関心や来訪意欲の喚起につなげることを目指す。

この目的を踏まえ、ブースの企画、設計、設営及び運営の業務を委託する。

2 委託期間

契約締結日から令和8年10月30日（金）まで

3 業務内容

「ツーリズム EXPO ジャパン 2026」への広島県ブース出展に係る企画・設計・設営及び運営の業務を行う。

〈開催概要〉

会期：令和8年9月24日（木）～27日（日）

・業界日（商談会）：令和8年9月24日（木）～9月25日（金）

・一般日（展示会）：令和8年9月26日（土）～9月27日（日）

場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）

主催：（公社）日本観光振興協会、（一社）日本旅行業協会、日本政府観光局

想定来場者数：約18万人

※詳細はツーリズム EXPO ジャパン公式HP (<https://www.t-expo.jp>) を参照すること。

（1）ブース内でのイベント準備・運営

広島県ブースでは、来場者の回遊を促進するとともに、各出展団体が訴求したい観光資源の魅力や観光情報について来場者の理解を深めることを目的として、一般日に各出展団体の展示スペースを回る周遊企画（スタンプラリー等）を実施する予定である。あわせて、ブース内にステージを設け、ブース全体の賑わいを創出するためのステージイベントを実施する予定である。なお、これらの内容詳細については、各出展団体と協議の上、今後決定する。

受託者は、上記の周遊企画及びステージイベントの実施に当たり、以下のとおり必要な運営準備及び当日運営を行うこと。

- ・周遊企画用の台紙を作成すること。台紙は、各出展団体の展示スペースを回遊できる構成とし、参加者が記念として持ち帰りたくなるようなデザインとすること。なお、台紙

に設けるマス数は、各出展団体（世界遺産登録 30 周年記念事業実行委員会を除く）に対応した 7～10 マス程度を想定すること。また、各展示スペースにおけるクリア条件（スタンプ等獲得条件）は各出展団体において設定するものとするが、現時点では、クイズへの回答、けん玉チャレンジ等を想定している。ただし、当該条件は今後各出展団体と協議の上、変更となる場合がある。

- ・周遊企画達成者を対象として抽選を実施することとし、受託者は抽選に必要な機材一式を準備すること。なお、抽選方法については、来場者の関心を引き、企画の参加を促進できるように視認性及び演出性のある内容を提案すること。
- ・周遊企画達成者に提供する景品（参加賞を含む）についても、広島県の魅力を PR できるものを選定・提案することとし、受託者において用意すること。なお、景品（参加賞を含む）に係る経費については、800 千円程度を見込むこと。
- ・一般日の運営に当たっては、周遊企画への参加案内、抽選対応、景品等の管理、参加者数の集計、ステージイベントの進行を行うために必要な運営スタッフを配置すること。
（ブース来場者想定：一般日 2 日間で合計約 3,000 人）
- ・その他、当日の運営に必要な物品・備品等を準備すること。
- ・実施内容、抽選方法、景品内容、運営体制その他詳細については、一般社団法人広島県観光連盟（以下、HIT）と協議の上、最終決定すること。

（2）ブースデザインの提案

①ブースの仕様について

HIT と県内市町等の共同出展とし、合計 10 スペース分（90 m²）を広島県ブースとして出展する。なお、各共同出展団体の借用スペースおよび想定設置物は以下のとおり。

団体名	借用スペース数	展示台数（想定）	商談セット数（想定）
HIT	4 スペース	5 台程度	今後決定する予定
広島市	1 スペース	4 台程度	1 セット
呉市	1 スペース	4 台程度	2 セット
廿日市市・佐伯商工会	2 スペース	4 台程度	2 セット
世界遺産登録 30 周年 記念事業実行委員会	2 スペース	設置なし	設置なし

※HIT 借用分には、共同出展団体を除く 4～6 市町分の展示スペースを設置することを想定している。

※展示台の設置台数については、現時点では 17 台程度を想定しているが、最終的な出展団体数、ブースレイアウト等を踏まえ、今後変更となる場合がある。

(共同出展団体スペースに係る留意事項)

- ・共同出展団体の展示スペースについては、各共同出展団体の借用分を基本とし、必要に応じて HIT 借用分の一部を追加し、展示スペースを割り当てるものとする。詳しいスペース割り当てについては、各共同出展団体と協議の上、決定する。
- ・世界遺産登録 30 周年記念事業実行委員会借用分の 2 スペースについては、床面の施工のみとし、残りの 8 スペースについては共通のデザイン・装飾とする。
- ・業界日には、ブース内に商談セット（机 1 台、椅子 4 脚を 1 セット）を設置することとし、具体的な設置数及び内訳については、前掲の表によるものとする。なお、HIT 借用スペースに設置する商談セットの設置数及び配置については、最終的な出展団体数、ブースレイアウト等を踏まえ、HIT と協議の上、決定すること。
- ・商談セットは業界日のみの使用であり、一般日開始までに撤去すること。
- ・各共同出展団体の展示スペースで使用する共通の壁面、展示台及び商談セットに係る費用は委託額に含むこと。

②デザイン・装飾について

- ・ブース全体は、来場者が一目で「広島県ブース」と認識できるデザイン及び装飾とすること。
- ・ブース上部には「広島県」と明確に表示した看板等を設置すること。
- ・共同出展のメリットを十分に生かし、広島県として一体感のある展示及び装飾となるよう工夫すること。
- ・滞在性の高いレイアウトにし、来場者の動線が円滑になるよう工夫すること。また、インパクトのあるブースにするため、高さ等の空間も有効に活用し、来場者を惹きつける装飾を施すこと。
- ・ブース位置及び形状は主催者において今後決定される予定であるため、提案に当たっては、配置条件や形状の変更にも柔軟に対応可能なレイアウトとすること。
- ・最終的なデザイン及び装飾については、主催者によるブース位置及び形状の確定後、HIT と協議の上、決定すること。
- ・HIT と協議の上、決定した企画デザイン及び出展内容等について、別途定める期日までに装飾施工図面及びその他必要書類を作成し、別途指定する箇所へ提出すること。

(3) ブース設営

- ・ブース全体の床面には、パンチカーペットを敷設すること。
- ・世界遺産登録 30 周年記念事業実行委員会借用分の 2 スペースを除く 8 スペースについては、展示台を設置することとし、具体的な設置数及び内訳については、前掲の表によるものとする。
- ・展示台は、B1 判ポスターを 1 枚以上掲示できる仕様とし、併せて A4 判パンフレットを 2 種類程度配架できるようにすること。なお、各共同出展団体の展示スペース内には、原則として当該団体分の展示台のみを設置し、残りは HIT 借用スペース内に配置すること。
- ・展示台の上部には各市町名を表示し、下部にはパンフレット等の備品を収納できるスペースを設けること。
- ・展示台の仕様、構造及びデザインのイメージについては、別添を参照すること。
- ・ブース内に、イベント実施用のステージスペース（6 m²程度）を設けること。
- ・ブース内に、コンセント口を 10 個設置し、商談日及び一般日の両方で使用できる配置にすること。なお、電気工事費は委託額に含めること。
- ・ワイヤレスマイク 4 本、ステージイベントで使用する音響機器一式及びパソコンからの音声出力に対応した機器を準備すること。
- ・展示内容に適した照明設備を設置すること。
- ・観光 PR 動画放映用の映像放映設備（モニター及び再生機器）を 1 セット以上設置すること。
- ・40 種類程度のパンフレットを配架可能なラックを設置すること。
- ・広島県専用のインターネット回線を準備し、通信の安定性を確保すること。なお、同時接続は最大 30 回線程度を想定すること。
- ・ブース内に、物品保管スペース（6 m²程度）を設けること。

(4) 運搬・施工・撤去

- ・ブース装飾資材、展示台、音響設備、映像放映設備その他本業務の実施に必要な物品の運搬、搬入、施工、搬出及び撤去を行うこと。
- ・搬入・施工・搬出時に発生したごみについては、受託者において回収し、適切に処理すること。

(5) その他

- ・ブース出展申し込みは HIT 及び各共同出展団体で行い、出展料は HIT 及び各共同出展団体が負担する。

- ・主催者に対する出展内容（施工図面、電気配線等）の報告、許可申請、各種支払（ブース出展料以外）等の手続きを行うこと。
- ・その他出展に付帯する業務を行うこと。なお、本業務実施に要する一切の経費（交通費、駐車場使用料、保険料、各種手配費等）は、委託額に含むこと。
- ・本業務の範囲内で生じる軽微な変更等に要する経費を予備費として700千円（取引に係る消費税及び地方消費税の額を含む）を委託額に含むこと。

4 事業実施体制について

事業の実施にあたっては、HIT との協議、各共同出展団体との連絡調整など迅速に行うことができるよう体制を整えること。

（1）総括責任者の配置

本業務の進捗を管理する責任者を1名配置すること。

（2）業務担当者の配置

本業務の実施に関する担当者を1名以上配置すること。ただし、総括責任者との兼務は妨げない。

（3）実施計画の作成

受託者は、契約締結後、速やかに本業務の実施計画（実施体制表、事業計画、スケジュール表等）を作成し HIT に提出すること。また、事業の進捗状況を適宜 HIT に報告する等、HIT との連絡を密に行うこと。

5 実績報告

受託者は本業務完了後、業務実施内容、周遊企画参加者数の集計を含む事業効果の分析、課題等を業務実績報告書としてまとめ提出すること。

6 成果の帰属及び秘密保持

- （1）本業務から発生した物件、成果品の所有権、著作権及びその他の権利は全て HIT に帰属するものとする。
- （2）成果品について、第三者が権利を有する著作権が含まれる場合には、受託者は当該既存著作物等の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に関わる一切の手続きを行うこと。
- （3）受託者は成果品にかかる著作者人格権を有する場合においても、これを行使しないものとする。
- （4）秘密保持
 - ① 本業務に関し、受託者が HIT から受領又は閲覧した資料等は、HIT の了解無く公表又は使用してはならない。

- ② 受託者は、本業務で知り得た HIT 及び事業者等の業務上の秘密を保持しなければならない。

7 再委託

受託者は、業務の一部を第三者に再委託することができる。その場合は、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し、HIT の承諾を得なければならない。

8 その他

- (1) 受託者は、本業務の実施にあたって、不明瞭な点や改善の必要性があると認められる場合は、HIT と協議すること。
- (2) 業務の実施に当たっては、HIT 及び各関係機関等との連絡調整を十分に図ること。
- (3) 事業計画等に重要な変更が生じる場合には、事前に HIT と協議を行うこと。
- (4) 不測の事態が発生した場合においては、速やかに HIT に報告すること。
- (5) 承認を得た事業計画書の内容が未実施の場合や見積もり時に想定した費用が発生しなかったなど、必要経費が契約時の委託料を下回った場合、減額したうえで委託料を支払うものとする。
- (6) その他、本契約の範囲内において、この仕様書に記載のない事項については、関係者において協議し、決定する。

別添

展示台イメージ

